

2007年6月11日

報道関係各位

クレディ・アグリコル生命保険株式会社

約5年ぶりに生保会社新規参入

## 6月8日クレディ・アグリコルが生命保険業免許を取得

— フランスのバンカシュアランス No.1 生保を保有する金融グループが日本市場に進出 —

クレディ・アグリコル生命保険株式会社(所在地: 東京都千代田区、代表取締役社長: リチャード・サットン)は、6月8日付で金融庁より日本での生命保険業免許を取得しました。今秋に、変額個人年金保険商品の販売を開始する予定です。

総資産1兆3,807億ユーロ(約218兆1,500億円<sup>\*1</sup>、2005年度世界第7位<sup>\*2</sup>)を有するクレディ・アグリコル・グループが、本年末に予定されている銀行窓販全面解禁を見据え、新たに生命保険会社を設立いたしました。これは、日本国内の生命保険会社としては、約5年ぶりの新規参入になります。

欧州市場で築いたバンカシュアランス(銀行窓口における生命保険販売)分野の実績およびそのノウハウと、日本におけるグループ会社の提携関係を活用し、日本のバンカシュアランス分野でトップクラスを目指して参ります。(※<sup>1</sup> 2006年12月末現在。1ユーロ=158円で換算。※<sup>2</sup> 出典: The Banker)

### < 設立の背景と当社の強み >

#### ■ 日本の銀行窓販: 生命保険商品の銀行窓販全面解禁と今後の市場の将来性

クレディ・アグリコル・グループは、本年12月末に予定されている生命保険の銀行窓販全面解禁を新規参入の契機と捉えております。欧州におけるバンカシュアランスの実績を踏まえ、その専門会社として当社を設立いたしました。

日本の生命保険市場の中でも、特に銀行窓販は、団塊世代の集団退職という短期的な側面と、規制緩和による新たな機会創出という長期的な側面から、今後大きな成長が期待されます。

クレディ・アグリコル・グループは、日本のお客様に革新的でわかりやすく、かつ利便性の高い保険商品・サービスを提供することで、日本の生命保険市場の競争を促すとともに、銀行窓販チャネルの活性化に寄与できると考えております。

#### ■ 販売チャネルとしての金融機関代理店との提携と商品戦略

フランスにおけるクレディ・アグリコル・グループの保険販売の中核には、バンカシュアランスがあります。当社は、これまでの実績・経験を活用すべく、日本でも銀行を中心とする金融機関と保険募集代理店契約を締結し、当初は、保険料一時払型の変額個人年金保険商品を販売する予定です。

この商品は、団塊世代が主な顧客ターゲットとなりますが、銀行窓販の全面解禁後には

商品ラインアップの充実を図り、貯蓄ニーズの高い若い世代を含むさまざまな顧客層を対象とした商品開発を検討していきたいと考えております。

## ■ グループ・ノウハウの活用とシナジー効果

クレディ・アグリコル・グループのフランス国内における生命保険子会社であるプレディカ (PREDICA) は、フランス本国におけるバンカシュアランス分野で 20 年以上の実績と経験を持っており、この分野における高い専門性を有しています。当社は、商品開発力や販売代理店のサポート・トレーニングなどのノウハウを活用して、日本での生命保険事業を展開して参ります。

また、当社は、変額個人年金保険商品における革新的なファンドラインアップを充実させるために、系列の資産運用会社であるクレディ・アグリコル アセットマネジメント株式会社の専門性やノウハウを積極的に活用して参ります。

## <新会社概要>

- 社名 クレディ・アグリコル生命保険株式会社  
(英文 Crédit Agricole Life Insurance Company Japan Ltd.)
- 事業内容 生命保険業
- 所在地 東京都千代田区内幸町一丁目 2 番 2 号日比谷ダイビル  
TEL 03-3593-8111(代表)
- 代表者 代表取締役社長(CEO) リチャード・サットン/Richard Sutton
- 役員 取締役 穴澤 禎一  
取締役 田中 昇  
取締役 ベルナール・ドウラス/Bernard Delas  
取締役 梅本 賢一
- 設立日 2007 年 4 月 1 日
- 商品販売開始時期 2007 年秋頃
- 当初資本金 20 億円 (資本準備金 7 億 7,500 万円を含む)
- 主要株主 クレディ・アグリコル・エス・エー/Crédit Agricole S.A.(フランス法人)  
1 社 (100%保有)

以 上

<本リリースに関する問合せ先>

クレディ・アグリコル生命保険株式会社 広報担当 石津 有希  
TEL 03-3593-8111 / FAX 03-3593-8112  
MAIL [yuki.ishizu@ca-credit-agricole-sa.jp](mailto:yuki.ishizu@ca-credit-agricole-sa.jp)

## 参考資料

### ■クレディ・アグリコル・グループ概要

クレディ・アグリコル・グループは 1894 年フランス(パリ)に設立されました。総資産 1 兆 3,807 億ユーロ(約 218 兆 1,500 億円<sup>\*1</sup>、2005 年度世界第 7 位<sup>\*2</sup>)、株主資本合計 587 億ユーロ(約 9 兆 2,740 億円<sup>\*1</sup>、2005 年度世界第 6 位<sup>\*2</sup>)、純利益 71.5 億ユーロ(約 1 兆 1,300 億円<sup>\*1</sup>)を有する総合金融グループです。

その事業分野は、持株会社であるクレディ・アグリコル・エス・エーを中心に、「フランス国内リテール銀行部門」、「専門金融サービス部門」、「保険・資産運用・プライベートバンキング部門」、「法人営業・投資銀行部門」、「国際リテール銀行部門」の 5 部門から組織されております。各部門の中には、地方銀行 41 行のほか、LCL(クレディ・リヨネ)、カリヨン銀行(投資銀行)、クレディ・アグリコル アセットマネジメント(資産運用会社)を有しております。特に保険会社としては、プレディカ(生命保険)、パシフィカ(損害保険)、フィナレフ・アシュアランス(団体信用生命保険)があり、フルラインで商品ラインアップしております。

最近では、イタリア、ポルトガル、ポーランド、ギリシャ、中東等に所在する海外の銀行、保険会社、資産運用会社との提携およびパートナーシップにより、国際的に組織を拡大しております。  
(<sup>\*1</sup> 2006 年 12 月末現在。1 ユーロ=158 円で換算。 <sup>\*2</sup> 出典:The Banker)

### ■日本におけるクレディ・アグリコル・グループの活動状況

日本では、法人営業・投資銀行部門に属するカリヨン・グループ(カリヨン銀行およびカリヨン証券)と資産運用部門に属するクレディ・アグリコル アセットマネジメント株式会社(以下、「CAAM」といいます。)等が事業を展開しております。CAAM は、リスク軽減型投資信託および条件付元本確保型投資信託の販売を通じて、日本におけるリテール事業を拡大することに成功しております。

また、カリヨン・グループは、法人・機関投資家向けに広範なストラクチャード商品を提供することにより、ストラクチャード・ファイナンスおよびキャピタル・マーケット等の分野で確固たる地位を築いております。そして、CLSA の株式売買業とカリヨン フィナンシャルの先物仲介業により、日本におけるカリヨンの組織は、急速に発展し確立されました。

### ■クレディ・アグリコル・グループの生命保険事業

クレディ・アグリコル・グループは、1986 年にフランス初のバンカシュアランス専門の生命保険会社であるプレディカを設立し、以来 20 年以上にわたり、バンカシュアランスのパイオニアとしてフランス国内において生命保険ビジネスを確立してきました。

現在、フランスにおける生命保険商品の販売額をチャネル別にみると、バンカシュアランス経由のシェアが全体の 6 割を超えております。プレディカは、2006 年度の収入保険料において、フランス国内の生命保険市場全体<sup>\*</sup>の 16%以上のシェア(生命保険会社で第二位、バンカシュアランス専門の生命保険会社で第一位)を獲得しております。

フランス国外においても、クレディ・アグリコル・グループは、ポルトガルにバンカシュアランス専門の生命保険会社を設立し、同国内第 3 位の規模の実績を誇っております。また、イタリアやギリシャでも際立った存在となっております。  
(<sup>\*</sup>出典:フランス生命保険協会 統計)